

ラオス・ファパン県における障害者の働く場づくり 事業開始事前写真



日ラオス友好記念公園が造営中であり、そこに友好の記の桜が植えてある。この桜の育成、公園の造園を中心に障害者及び県・郡・村のサポーターに桜育成の技能を習得させ、公園の桜をしっかりと管理できるスキルを指導する。



ADDP 仮想造園・園芸研修の借り上げ日本人専門家による障害者への苗木の植え方の実践を行う予定地。近隣の村人の人々の協力を得ての実践研修を行う予定



プロジェクトの事前に搬入された桜の苗木を準備している写真。



ファパン県プロジェクトサイト

敷地面積は広く、3 事業（製菓、美容園芸 & 造園）の技能訓練を行うだけの十分な大きさがある。町の中心からも近い。カイソン広場（桜植樹地）から 1 キロ離れている。ファパン県政府関係者所有。事業終了後も障害者就労サイトとして利用可能。ファパン県が全面保障のサイト。



園芸研修用の用地。これから研修生とともに開墾し、園芸研修の用地とする。



ビエンチャンではお土産クッキーの開発に成功。フアパンでも桜クッキーを観光資源のお土産として製造・販売予定。



美容研修

伊藤専門家(ヘアスタイリスト)を講師に招き技能研修を行う予定。



北部の障害を持つ女性の社会自立の足掛かりになるため、美容研修はとても効果的な職業訓練である。